

3月13日、

会員の親睦と交流を目的に平成24年度洞爺湖町老連レクリエーション大会（洞爺湖町老人クラブ連合会主催）が、母子の館で開かれました。



ラダーゲッターに興じるお年寄りの皆さん

大会は、団体戦のダーツ大会と輪投げ、スカットボールなど4種目で競う個人戦とに分かれて実施。ダーツ大会では、参加者一人ひとりが集中して、中心の円に矢が当たるように投げ、会場には張りつめた空気が漂っていました。結果は次のとおり。（敬称略）

団体 優勝・成香明大クラブA 準優勝・福寿クラブA 3位・睦会A / 個人 優勝・山田睦美（栄クラブ）準優勝・横山アイ子（大原喜楽会）3位・佐々木洋子（栄クラブ）

ゲームで親睦深める 老連レクリエーション大会

お菓子作りで交流 洞爺高校ととうや小学校

3月14日、授業を通して異世代交流を深めようと洞爺高校で、同校ととうや小学校の交流授業が行われ、とうや小学校の5年生16人が洞爺高1年生（12人）から、マドレーヌの作り方を習いました。

同高校ととうや小学校の交流は、昨年初めてミシンを使っている授業が行われ、今回それが調理の分野へ拡大。2月にも同校2年生ととうや小6年生が同様の授業を行っています。

当日は、高校生らの指導を受けて、評判のよいマドレーヌづくりに挑戦。おいしそうな出来上がりには、児童らは大喜びでした。



高校生の指導で楽しくお菓子をつくる児童たち

奉仕活動でまちづくり ボランティア研修会

ボランティアリーダーの育成や実践者のスキルアップを目的に、平成24年度ボランティア研修会（洞爺湖町社会福祉協議会主催）が3月16日、健康福祉センターさわやかで開催され、福祉関係者ら約60人が参加しました。

小山忠弘ふるさと再生塾塾長（元札幌国際大学学長）が、「あったか洞爺の・ひと育て・まち育て」と題して講演。

参加者は、「今、ボランティア活動に期待されているものが何なのか」「安全・安心・ぬくもりの心が伝わる地域



地域づくりとボランティア活動について学ぶ参加者

づくりにボランティア活動がどう関わっているのか」などを学びました。

3月19日、

地場産の食材を知ってもらおうと地場産品料理教室が、健康福祉



地元食材を使った料理を習う参加者

センターさわやかで、10人が参加して開かれました。

今回は、依田信之さん（ホテルニュー洞爺湖）を講師に、ブランド化を狙う赤毛和牛の「ちゃんちゃん焼き」、冬の魚の主役鱈と地元の長いもを合わせた「鱈の蒸し物」、洞爺湖で獲れた「わかさぎの南蛮漬け」の合計3品を楽しく調理しました。

ちゃんちゃん焼きと言うとサケが多いので、今回の和牛はめずらしく、「バターみそのこくが、牛肉と野菜にマッチしておいしい」と参加者の評判も上々でした。

地元産を食べよう！ 地場産品料理教室

まちのわだい